

町長からの年賀状



山田町長 佐藤信逸

新年あけましておめでとうございます。本年が、町民の皆さまにとって良い年になりますよう祈念いたします。山田町では、10年間という期間で復興事業を進めております。そして、この3月11日には5年の節目を迎えます。平成33年にはゴールを迎えますが、そのためには、これまでの

期間をいかに過ごしてきたかを総括する必要があります。発災から2年間は、生存者の救出や行方不明者の捜索、応急仮設住宅の建設、災害がれきの撤去など多忙を極めました。その間、復興基本計画の作成という重要な仕事も進めてまいりました。その後は、高台宅地造成や嵩

上げ工事、高台避難道路の整備など土木工事が主な仕事でした。2年ほど前より建物の建築も始まり、民間住宅や商店も完成しました。つまり、形として見える取り組みが始まったのは3年前からになります。ここで私たちは、そろそろゴールから逆算した計画に視点を変えなくてはならない時期に来ております。新年度はそのような意味から「本格的な生活再建への正念場」と位置付け、職員一同頑張ります。最後に、ことし一年が町民の皆さまにとって希望に満ち、笑顔の溢れる素晴らしい年であることを心より願い、新年のごあいさついたします。

上り工事、高台避難道路の整備など土木工事が主な仕事でした。2年ほど前より建物の建築も始まり、民間住宅や商店も完成しました。つまり、形として見える取り組みが始まったのは3年前からになります。ここで私たちは、そろそろゴールから逆算した計画に視点を

選挙関係功労者表彰 清水さんと勝山さんに総務大臣表彰・感謝状

12月3日、山田町役場で国民参政125周年・普通選挙90周年・婦人参政70周年における選挙関係功労者表彰伝達式が行われ、清水誠勝さん（後楽町・72）に総務大臣表彰、勝山君雄さん（豊間根・76）に総務大臣感謝状が授与されました。

清水さんは、通算21年5カ月間山田町明るい選挙推進協議会の会長を務め、長年にわたり有権者の政治意識の高揚や明るい選挙の推進に努めてきました。「今回の受賞は一生懸命活動していただいた皆さんのおかげ、感謝し

たいです。これからも体の許す限り、明るい選挙の推進の役に立てればと思います」と話していました。

勝山さんは、通算18年10カ月にわたり山田町選挙管理委員会の委員として厳正な選挙の執行に貢献してきました。「たいへんありがたいことです。感謝状をいただけたのは、私だけでなく、他の委員の方々のおかげだと思います。これからも公正な選挙を執行するために、次の世代へ託すことが今の私の使命だと思います」と、喜びと未来の選挙への思いを話してくれました。



清水誠勝さん



勝山君雄さん

県柔道新人大会で 山中柔道部が活躍

一戸町の一戸町体育館で11月14日から15日にかけて第36回岩手県中学校新人大会柔道競技が行われ、山中柔道部が団体戦と個人戦で優秀な成績を残しました。

◎個人戦

男子90^{kg}級で木下慶輔君（2年）が優勝を果たしました。今回の結果については、「2年間で優勝したのは初めてのことでうれしいです」と笑顔を見せてくれました。

◎団体戦

男子団体は、3位入賞を果たしました。部長を務める木下君は「先輩達が抜けてから結果を残せるか不安だったが入賞できました。中総体ではさらに上を目指します」と話し、早速次の大会に向けて闘志を燃やしていました。



山中柔道部男子団体。上段左から鈴木颯真（2年）、佐藤真（2年）、徳田尚人（2年）、木下慶輔。下段左から箱石扉（1年）、山崎寛樹（1年）、横田響（2年）《敬称略》

県剣道新人大会で 山中1年が3位に

11月14日と15日に花巻市の花巻市総合体育館で行われた、第35回岩手県中学校新人大会剣道競技1年生の部で、澤山タクト君が3位入賞を果たしました。入賞の感想を伺うと「うれしいですが今回の結果は組み合わせなどに恵まれた結果だと思います。



次は実力で結果を残せるように稽古を重ねていきます」と、力強く話してくれました。得意な技は”返し胴”だといい、「自分は技を打ったあとに止まってしまうことがあります。これからの稽古には技を打ち切ることを心掛けて臨んでいきたいです」と目標を話してくれました。



山根ノブ子さんと受賞作品

10月17日から20日にかけて山口県で行われた、第28回全国健康福祉祭やまぐち大会洋画部門において、本町の山根ノブ子さん（71）の飯岡の作品「自然の造形」が厚生労働大臣賞を受賞しました。「とにかく驚きました。技術に自信はありませんでしたが、特徴的な題材が評価されたんだ

と思います」と喜ぶ山根さん。作品については「絵を描くときは主役が目立つような構図を考えます。今回は切り株に開いた丸い穴ですね。また、落ち葉や細い根といった、目立たない部分こそ緻密に描くように心掛けました」と話します。普段から特徴的な題材を探して町内を歩いているといい、これからの目標を「県芸術祭で、もう一度奨励賞を受賞することです」と掲げていました。

第28回全国健康福祉祭洋画部門

厚生労働大臣賞に山根さん

佐々木深音さんが最優秀賞 人権作文コンテスト県大会

2015年度全国中学生人権作文コンテスト県大会で、佐々木深音さん（山中3年）の「私の先生」が最優秀賞に選ばれました。同コンテストは、中学生に人権尊重の重要性を認識してもらおうと開催されたもので、県内90校から6507編の応募がありました。

作文は障害を持つ伯父から佐々木さんが学んだことなどをつづったもので、伯父を自分の先生だと表現しています。「成長していく自分の伯父に対する心情の変化や、いかに自分が恵まれているかを伝えたくて作文を書きました」と真剣なまなざしで話します。受賞の感想を伺うと「驚きとうれしさでいっぱいです。今回の結果を伯父にも知らせて感謝したいと思います」と笑顔を見せてくれました。

